



井崎敦子の市会だより



はじめての
予算審議！

3月1日、新市長を迎えての
議会がスタートし、令和6年度の
一次予算が決まりました。



令和6年度の一次予算

全会計合計 **1兆8,247億円**

内訳

一般会計*1 **9,514億円**

特別会計*2 **6,211億円**

公営企業*3会計 **2,522億円**

*1) 特別会計、公営企業会計以外のすべての会計

*2) 国民健康保険や介護保険会計など

*3) 上下水道局と交通局

予算審議は通常、年度初めに一度に確定するところ、今年は市長選挙があったので新市長の公約が一部盛り込まれた第一次予算となっています(左図)。5月には第二次予算案が出てきます。予算については、膨大な予算案ひとつひとつに賛否を出すのではなく一括で賛否どちらかを決めなければなりません。私は今回、とても迷いながら予算案に反対をしました。

予算って、つまりは市民が払っている税金の使い道で市民生活を支えるためのものです。ぜひ、家計簿を見るようにチェックしてみてください。「ここ、もっと手厚くしてよ」とか「こんなことしてって言ってないよ」とか多様なご意見が出ると思います。議会ではしっかりと審議しているでしょうか？市民の声は予算案にどのくらい生きているでしょうか？京都市の予算決定プロセスとともに、反対に至った経過をお伝えします。

※予算詳細についてはHPでもアップされています。

https://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/cmsfiles/contents/0000323/323068/01_1_yosangaiyou.pdf



3月議会のスケジュール(予算決定プロセス)

2月

- 4日 京都市長選挙
- 26日 議案発送
- 29日 勉強会

3月

- 1日 本会議(補正予算案付託*)
- 4日 令和5年度補正予算特別委員会(3つの分科会)
- 5日 議員会
- 6日 補正予算特別委員会討論終了
- 7日、8日 本会議会派代表質疑(8日 予算案付託*)
- 11~13日 予算特別委員会局別質疑
- 18日 予算特別委員会市長総括質疑
- 19日、21日 常任委員会
- 25日 議員会
- 26日 予算特別委員会・常任委員会討論終了
- 27日 本会議

予算や議案について担当する部局の職員さんから説明を受けること。予算の場合はボリュームが多いので20分ごとに入れ替わり立ち替わり、ほぼ丸一日かかります

反対討論をしました

*付託とは：議案の審査を本会議の議決に先立って担当の委員会に委ねること

予算の審議、
反対討論
ほか

REPORT

中面もぜひ
ご覧ください！



令和6年度
一次予算の審議



予算特別委員会

局別質疑 (3月11~13日)

議員が3つの分科会に分かれてそれぞれの分科会の担当部局の予算について質疑をします。

私の担当は産業観光局、交通局、水道局でした。



Q: 井崎の質問 A: それに対する回答

災害時の水問題
WOTAP

産業観光局の予算質疑

能登の地震では6200戸が断水し下水管が破損し、トイレが使えない状況で3ヶ月以上も過ぎさなければならぬ事態で、京都市でも元日から消防局はじめ多くの職員さんが現地に入り復旧に取り組まれていると伺っています。まずは被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、日々活動されている職員、ボランティアの皆様にも心より御礼申し上げます。昨年、視察に伺った鳥羽水環境

保全センターでは、京都市の70%の下水を処理され、毎月約9000万円の電気代がかかる大規模施設で皆様が大変な労力を払い、リスク管理をされておられるのを拝見しました。たとえばポートランドなどではグリーンインフラが進み、街中にNORMという小さな下水処理タンクを備えて汚水の一時処理をすることで長寿命化、市民への可視化、環境負荷の低下を進めておられるようです。今回の能登地震では、被災地でシャワーなどに活用された民間の小規模分散型水環境システムWOTAPの例があります。災害時の下水処理場でのリスク分散について、どう対応されていますか？ また環境負荷軽減については、どう対応されていますか？ 今後の可能性として、将来への汚水処理施設、および環境への負荷が少ないと思われる、小規模分散システムへの研究を希望します。

▼A 災害時リスクは、処理場は複数の系列で構成され、一系列が小さな処理場の役割を果たしており、地震発生の際、すべて機能停止に陥る可能性は低く、早い時期に処理機能を回復できると思われます。実際に、今回能登の震災では、被災した57処理場中9箇所が機能停止に陥りましたが、概ね2週間強で機能回復できています。被害が

おきても、残った系列で能力を確保したいと考えています。大規模化することで、複数の下水処理施設があった頃より、電力消費は年間100万KWh、金額にして2500万円ほど削減できています。環境負荷に関しては、下水汚泥を固形燃料化し、火力発電所でそれを活用していることでCO₂を年間8000t削減になっています。



自伐型林業の推進
EFCSTP

*1 上下水道局の予算質疑

福井県では環境保全型で低コスト、参入容易な自伐型林業での推進に力を入れています。京都市でも今後、自伐型林業を推進すべきではないでしょうか？

▼A 京都市ではすべての林業事業者に支援をしている。一方、担い手対策として令和4~6年度は京都市版フオレストという形で民間事業者とともに森づくりの助言、誘導をする人材育成を進めています。



*1 自伐型林業 適正規模の山林を確保し、毎年間伐生産しながら、長期的に経営を安定させる林業。生業創出、移住・定住策となり、獣害対策、災害防止、脱温暖化対策等の様々な効果が期待される。

*2 市長総括質疑でも
質問しました

スタートアップ企業、
や新たな研究の支援、
情報公開について

産業観光局の令和6年度当初予算では、都市計画の見直しと連動した更なる企業立地促進、スタートアップの創出・成長支援の強化が謳われております。京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト予算として、全体事業費3650万円、未来創造型企業支援プロジェクトでは4162万円、ライフィノベーション創出支援事業には7285万円など、関連予算は3億円を超える規模となっています。これらの分野においては京都市民の税金で運営されている助成金制度も充実しており、10年以上にわたって助成制度が運営されていますが、実際、どのような効果があったのか、たとえば法人市民税がアップしているのか？などの検証はされているのでしょうか？ 市民への情報公開や市民意見の反映が弱いのではないかと思います。いかがでしょうか？

▼A 税収への反映を総括するのは難しい。助成先企業がその後どう展開をしているかについては調査しています。プロジェクトには市が審査するもの、京都高度技術研究所(ASTEM)が審査委員会をつくらせて担当するものがあり、ASTEMが単独で審査をするものではありません。新規事業のアイデアの審査については専門分野の知識が必要で、その内容が機密事項に関わるものは非公開にせざるをえないという事情があります。審査結果やその過程を市民に公開することについては真摯に受け止めたと思います。



*2 市長総括質疑

予算特別委員会(局別質疑)後、本会議場で議員が市長に直接、担当部局の予算について質疑を行う。

企業や研究への公費による助成金、
どんなところに助成しているの？
選考基準は？市民生活への影響は？



議会議中継アーカイブから
該当部分の質問と答弁の
様子をご覧いただけます



3月27日、本会議で令和6年度の第一次予算が可決されました。私は防災減災対策予算の強化や観光混雑対策、また各部局から出されている多くの予算については賛成の立場でしたが、一方で賛成できかねるものがあり、その理由を討論しました。



※録画番号1/01:21:48から

***3 反対討論** 予算案や議案、また請願について、賛成の場合は賛成討論、反対の場合は反対討論が出来る。市民の声や自分の考えを他の議員や市長、職員の方々に伝えて賛同を得るために行う。

教育委員会
教育現場への予算について

「3月市会には小学校の給食調理業務の民間委託について複数の請願が出されました。給食調理業務の民間委託は人員不足、雇用の不安定さを是正するためとのことですが、今回請願を出された大原の保護者の皆さんから、これまで給食調理を担ってこられた職員さん、いかに子どもたちに慕われ、地域の皆さんにも信頼されてきたか、今回、業務委託に伴う異動の知らせが突然、説明会もないまま書類1枚で届き、お子さんたち、そして保護者の皆さんがどんなに動揺されたかをお聞きしました。単に調理だけでなく教育現場の大切な役割を担ってきただったことを思えばあまりに配慮がなかったのではないのでしょうか。そもそも、子供たちの食を担う重要な仕事の正規雇用をやめた

ことが間違いなのではないのでしょうか。松井市長は3月議会で、新しい公共を謳われ行政改革の中で細りすぎたかもしれない公共の役割を再検討するとお話しされました。児童生徒、保護者、先生方など現場の声を聞いていただき、今、現場が求めている予算と政策は何か、検証と軌道修正をお願いいたします。給食につきましては、全員制中学校給食の実現に向けても、センター方式、自校式、親子式など、継続審議されているところでは多くの市民の皆さんが市会に足を運び、センターの分散や自校式の導入を要望されています。リスク分散に配慮した現実的な方法となるよう更なる丁寧な審議を求めます。」

教育委員会
小・中学校空調設備更新予算 4440万円について

「こちらはPFI^{*4}方式も視野に入れた調査費で、今年度は具体的なエアコンの更新は故障対応以外は実施しないとのこと。これまでにない猛暑の中、昨夏、視察に伺った学校でもエアコンが付いているにも関わらず教室の温度が30度を指しておりました。児童・生徒・そして先生方の体調を鑑み、早急に対応できることから付け替えを実施すべきではないでしょうか。」

都市計画局
京都駅新橋上駅舎・自由通路整備事業について

「京都市の負担は総額28億円、令和6

年度は8億4200万円の予算が組まれていきます。私は新駅舎によって、共同開発ビルへの誘導の利便性を高めはするものの画期的な混雑緩和になるとは思えません。これについては市民の中でも意見の分かれるところかと思えます。市民の意見を広く募った上で、本当に必要な事業かどうかの再検討をお願いいたします。」

産業観光局
創業・新事業支援の助成金予算 3900万円あまりについて

「助成金決定過程は非公開のものが多く、市民にとって有益なものとなっているか、実際にどのくらいの経済効果があったのか、環境負荷についてはどうかなど、早急な情報公開と検証を求めます。さらに産業観光局の万博に向けた気運醸成・誘客等推進事業予算3220万円ですが、能登半島での災害復興を優先すべきという少なからぬ世論の中、京都市として万博推進の立場で良いのか、慎重な議論が必要ではないでしょうか。」

総合企画局
リニア中央新幹線の誘致及び北陸新幹線の円滑な整備の推進予算15万円について

「京都市民の多くが北陸新幹線の地下トンネルによる延伸には反対の意思表示をされており、市長にも計画に反対の立場に立っていただきたいと思っておりますが、予算をつけるのであれば

建設局
Park&P事業(仮称)に伴い公園内の建蔽率を緩和するものについて

国の環境影響評価を待つのではなく、巨大トンネル工事による地下水の枯渇、シールド工法による陥没、ヒ素を含む残土による環境汚染など多くのリスクを抱えるこの計画について市独自の公正で徹底的な調査を求めます。」

「この事業が地域主体の公園の管理運営を促進し、地域の繋がりを強化する目的であることには賛成いたします。しかし建蔽率の緩和については、具体的に各地域で公園運営委員会が発足し、その中の議論を踏まえた上で検討すべきではないでしょうか。地域ごとの様々なニーズは、必ずしも施設を必要とするものではないと思います。具体的ニーズを待たずにあらかじめ建蔽率を緩和することは、子どもたちの遊び場であり、貴重な公共空間である公園面積を狭めることにもつながりかねません。今回の議案には反対いたします。」

松井市長は『市民が主役』の市政運営を目指されていると思います。広く市民の声を聞くための仕組みづくり、そして時には大胆な軌道修正を求めて私の討論を終わります。」

^{*4}PFI 民間企業が地方公共団体と提携して公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。

予算審議には「暮らしのことを自分たちで決める」ためのヒントがいっぱい

自治体の予算は、市長のリーダーシップのもと、普段から市民の声を聞いてらっしゃる職員の皆さんが細かなところまで配慮して組まれます。それに対して、議員は市民の声をもとにその予算が適正かを議会でしっかりと議論する必要があります。市民は「この予算案には反対だから納税しません」とは言えませんから。常日頃、どれだけさまざまな現場を見ているか、声を聞いているかが問われます。事務的な顔をした議案の中に隠れている問題に気づけるかどうか問われます。議会の様子をなるべくわかりやすく市民の皆さんに伝えていくことも大切です。

例えば給食について、福祉事業についてなど、身近なところの予算に市民の声はしっかりと届いているのでしょうか？議会には日々、多くの市民の方が請願や陳情を出しに足を運ばれています。「声をあげてもなかなか届かない」、そんなお声をたくさん聞きます。コントロールできない予算が増えるほど民主主義からどんどん離れていく。平和で誰もが安心して暮らせる町づくりの根っこの、「暮らしのことは自分たちで決める」、そんな住民自治の広がりがあると、初めての予算審議を経て改めて思っています。

井崎の視点



議員に相談ってどんなふう？

お問い合わせ

市民の声を
届けます！

✉ info@izaki-atsuko.net 📠 075-204-6369

ご意見・ご相談など
お気軽にメールやFAXで
お問い合わせください

ご相談いただくことで
議員自身も大変勉強になります。
すぐには解決できないこともあります
根気よく動いてまいります。

▼ この間の市民の方からのご意見・ご相談への回答

健康診断の脱衣について 実施状況はどうでしたか？



1月22日、文部科学省が学校の健康診断
について原則着衣と通達を出しました。教育委員会に
問い合わせをしたところ、京都市でもこの方針に沿って
検診を実施するということでした。引き続き、実施状況を
調査します。



この間の主な活動



議会報告会 | 4/14

タウンミーティング

- ・京都市でも、有効なヘイトスピーチ禁止条例を前に進めるために
～崔江以子さんのお話から考える～ | 1/22
- ・パブリックコメント制度を知ろう
お話：吉岡久恵(さとうひさゑ)さん | 3/8

その他

- ・草の根食堂 and 能登半島地震支援プチフリマ | 2/18
- ・パレスチナ刺繍ワークショップ | 3/22

「ガザ 素顔の日常」自主上映とお話会 | 3/23 上映会レポート

草の根プロジェクトでは定期的に議会報告会やタウンミーティングを開催しています。

午前・午後2回の上映会は、おかげさまで多くの出会いと語らいのもと無事終了しました。

午前の部でお話いただいた、京都で働くパレスチナ人女性の方からは、パレスチナの人々は、空爆や攻撃を受けることが多いけれども、当然その前には映画で描かれたように日常生活があり、歌や踊りや守ってきた文化、歴史があること、今ガザで起こっているジェノサイド/大量虐殺は、去年の10月に始まったことではなく、歴史的な経緯を背景とした明確な長年の植民地プロジェクトの結果であること、たとえばイスラエルによる病院への攻撃は徹底的に医師と看護師に照準を合わせ、一人残らず攻撃し、病院を機能不全に陥らせていること、不可能と思われたアパルトヘイトさえ、国際社会のボイコットと経済封鎖で止めることができたのだから、できることは必ずあるということなど、笑顔と尊厳をもった毅然としたお話を聞きながら、涙を浮かべる参加者が多かったのも印象的でした。何か自分にできることを探している、という質問には、複雑な問題、危険だからと脇に追いやらず、一つずつジェノサイドを止める方法を取ってほしいこと、それはイスラエルのボイコット、イスラエルを支援する企業のボイコット、パレスチナ企業やスタートアップを支援したり、UNRWAへの支援を復活させるよう政府に向け声を上げ続けること、とのお話でした。

午後の部では、日本国際ボランティアセンター(JVC)の並木さんから、パレスチナの置かれた状況をじっくり解説いただき、参加者から途切れることなく質問が続きました。メディアの情報に注意しながら自ら上映会に足を運び現地の状況を理解したい、そしてジェノサイドを止めたいという参加者の熱を感じる時間でした。多くの方がこの機会に共通の思いを持つ人とつながり、語り合い、無力ではないと感じ、何かできることをやってみようと思える勇気を培った時間でもあったのではないかと思います。(佐々木)



事務所にてゆるっと開催中！
お気軽にご参加ください！



寺子屋・自習スペース
草の根やわらび堂
太極拳気功・算数
書と楽しむ会

要予約

お問い合わせください。
開催日時等、詳細についてはSNSでもお知らせしています。

@井崎敦子事務所 左京区一乗寺中ノ田町26-2 (辻公園向かい側)

タウンミーティングは毎月のように開催しています。
HPやSNSをご覧ください
ご興味ある会にはお気軽にご参加ください。

🌐 京都市議員 井崎敦子公式サイト

<https://izaki-atsuko.net>



SNSでも情報発信中！ぜひフォローしてください

facebook : 井崎敦子と草の根プロジェクト

instagram : @atsuko_izaki

x(旧Twitter) : @kusanoneproject

youtube : @Kusanoneproject



発行：井崎敦子事務所

左京区一乗寺中ノ田町 26-2 (辻公園向かい側)